

じりょうきしんじょう

寺領寄進状 (前田利次印)

市指定有形文化財

(古文書)

婦中町長沢 5692

各願寺所有

各願寺は高野山真言宗^{ほくえいさん}で北叡山と呼ばれています。大宝元年(701)文武天皇の時代に^{ぶっしょうしようにん}仏性上人(天武天皇第七皇子・^{おうじ}自信院一品親王^{しんのう})が開山したと伝えられています。この寺には多くの貴重な史料が残されています。



左の写真は、初代富山藩主前田利次の亀の黒印が押された寄進状です。

「寺屋敷千五百歩並びに薬師堂・山王堂・若宮堂、その三社の林を寄付するので、これを全て支配し、朝夕勤行を怠慢しないこと」

と記されています。延宝2年(1674)の作で、縦39.9cm横50.8cmの掛幅装です。

近世初期の寺社統制の史料として貴重な品です。

当寺屋敷千五百歩并
薬師堂山王堂若宮堂
三社之林令寄附之畢全可為
支配且暮勤行不可有
怠慢者也
延寶貳年三月廿九日利次(黒印)

長沢村
各願寺



新保保養センター下車(地鉄バス)徒歩3分